

恵那市の森林経営管理制度の取組状況（R1.10 月末現在）

1. 恵那市全体

森林面積 39,050ha

うち 民有林 34,106ha ⇒ うち 人工林 20,803ha ⇒ うち 私有林 19,209ha

うち 森林経営管理意向調査対象森林 10,460ha

…森林経営計画未策定、過去10年間に間伐未実施（県森林GISによる分析結果）

① 絞込

実施の要件を「恵那市森林整備検討委員会」にて決定

採択要件：①人工林、②10年以上無間伐、③山地災害危険地区・土砂災害

特別警戒区域指定地、④地域要望有、境界明確地等

注) 恵那市森林整備検討委員会とは

市内の森林施業プランナー等の有資格者とアドバイザーとして県林業普及

指導員で構成

② 計画 以下の順で実施予定。

- i. モデル地区(実績のある恵那市森林組合、恵南森林組合、奥矢作森林塾)
- ii. モデル地区周辺（口コミによる広がり期待）
- iii. 優先度の高い対象森林から順次実施（地籍調査済+山地災害危険地区+土砂災害特別警戒区域指定地 146ha→地籍調査済+山地災害危険地区 1,450ha→残り）

2. モデル事業

- ・ 森林経営管理意向調査から森林整備までをモデル的に実施
- ・ 3地区を選定…地籍調査済
- ・ 森林経営計画策定（集約化）の実績のある恵那市森林組合、恵南森林組合、奥矢作森林塾へ業務委託

① 現在の状況

i. 地区説明会

- ・ 8～9月に地区毎に説明会を開催。
- ・ 出席率は2～5割。
- ・ 出席者に意向調査票を手渡し。その場で記入し提出する人が多かった。

ii. 意向調査

- ・ 地区説明会欠席者へはダイレクトメールを郵送。
- ・ 回答率9割。
- ・ 1人以外は全員市へ委託と回答。
- ・ 明智地区は林道等が整備されており、経営管理実施権の設定の検討が必要。

R1第1回恵那市モデル地区森林経営管理意向調査実施結果

モデル地区		笠置地区	明智地区	串原地区	計	
現況	所有者数	10 (1)	20 (6)	20 (17)	50 (24)	
	筆数	23 (1)	40 (11)	46 (38)	109 (50)	
	面積(ha)	16.09 (0.34)	25.94 (9.33)	35.12 (11.34)	77.15 (21.01)	
回答状況	回答有	所有者数	9 (0)	17 (5)	19 (16)	45 (21)
		筆数	22 (0)	31 (7)	42 (34)	95 (41)
		面積(ha)	15.75 (0.00)	21.81 (6.08)	34.51 (10.73)	72.07 (16.81)
	市へ委託	所有者数	9 (0)	16 (5)	19 (16)	44 (21)
		筆数	22 (0)	31 (7)	42 (34)	95 (41)
		面積(ha)	15.75 (0.00)	21.17 (6.08)	34.51 (10.73)	71.43 (16.81)
	自己管理	所有者数	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
		筆数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		面積(ha)	0.00 (0.00)	0.64 (0.00)	0.00 (0.00)	0.64 (0.00)

注) ()内数字は地区外居住森林所有者。

② 今後の予定

■ 笠置地区 (旧恵那市)

- i. R1.10 月末 「市へ委託」と回答のあった箇所の森林調査から森林管理集積計画案作成までを恵那市森林組合へ委託。
- ii. ~R1.12 月 森林管理集積計画の森林所有者同意取得。
- iii. R1.11~12 月 隣接地を追加で意向調査し森林管理集積計画の同意を取得。

業務は委託。

- iv. R2.1月 追加部分も合わせて市森林経営管理事業として保育間伐を発注。

工期 R2.3月末。

■ 串原地区

- i. R1.10月末 「市へ委託」と回答のあった箇所の森林調査から森林管理集積計画案作成までを奥矢作森林塾へ委託。
- ii. ~R1.12月 森林管理集積計画の森林所有者同意取得。
- iii. R2.1月 市森林経営管理事業として保育間伐を発注。工期 R2.3月末。
- iv. R1.11月~R2年度 隣接地を追加で意向調査し森林管理集積計画の同意を取得。森林整備は、R2意向調査分と合わせて実施予定。

■ 明智地区

- ・ 森林調査、森林管理集積計画作成等は次年度以降実施。
- ・ 内包する林業経営に適した森林は、経営管理実施権を意欲と能力のある林業経営体に設定予定。
- ・ 隣接地の意向調査も本年度内に実施予定。